

**第 2 部 個別の指導計画の作成に向けた教員研修の
現状と方向性**

全国の特殊教育センター等における個別の指導計画の作成の研修に関する調査

肥後 祥治 (国立特殊教育研究所)
竹林地 毅 (国立特殊教育研究所)

・目的

新学習指導要領の実施にともない、知的障害養護学校における個別の指導計画の作成への取り組みが本格化してきている。個別の指導計画の作成においては、先進的な多くの実践報告やアメリカやイギリスなどにおける個別教育計画(IEP)の実践やシステムの紹介が行われてきた。また、教師の個別の指導計画の作成にまつわる関心もどのような様式にどのように書くのかといったものから、過程における作成システム(親のニーズの評価やインフォームドコンセント等の)や教育課程との関係へと広がってきているように思われる。

しかし、現状では個別の指導計画の作成に取り組むにあたって情報や研修が求められているであろう。そこで本研究においては、特殊教育に関わる教師の現職研修の要である全国の特殊教育センター等において、個別の指導計画の作成に関わる研修プログラムがどのような形で提供されているかについて明らかにすることを目的とした。

・方法

1. 対象

各都道府県や政令指定都市にある特殊教育センター等(以下センター)71カ所を調査対象とした。

2. 質問紙及び手続き

使用した質問紙は、資料1に示した通りであった。質問紙は、大きく分けて次の4つの内容で構成された。平成13年度の「個別の指導計画」作成に関わる研修に関する質問項目(質問1~6)、平成14年度の「個別の指導計画」作成に関わる研修に関する質問項目(質問7~12)、学校等への「個別の指導計画」作成にかかわる支援に関する質問項目(質問13)、学校における「個別の指導計画」作成、「個別の指導計画」に関する研修の企画、「個別の指導計画」に関しての学校への支援といった事項に関する問題点等(質問14~17)

調査に際しては、上記質問紙を郵送で配布し、回

答後返送してもらった。調査は平成13年12月に行われた。

・結果

1. 回収率

質問紙の回収率は、90.1%(64件)であった。そのうち3件は、特殊教育に関する研修業務は同一自治体内の特殊教育センターが担当しているため、回答を行わない旨が記載されていたため、分析に用いたものは61件(85.9%)であった。ただし、その記載の内容は、平成14年度の予定に関して記載がない場合などがあり、各質問項目で、回答数が異なっていることもあった。

2. 研修プログラムにおける個別の指導計画の作成への対応

平成13年度の全国の特殊教育センター等で企画された教師研修プログラムにおける個別の指導計画の作成の取り扱いを、個別の指導計画の作成に関する内容を主とする単独の研修講座等の開設、その内容が一部含まれている研修講座等の開設の2つの形態を手がかりに整理したものが図1である。平成14年度に関しては調査の時点での予定について回答してもらった。13年度の分析対象は、61件であり14年度は54件であった。

13年度の時点で個別の指導計画の作成に関する研修講座等を開設しているセンターは、72.14%であり、14年度においては、予定されているもので68.85%を占めていた。個別の指導計画の作成に関する内容を主とする講座を開設したり、主とする講座と一部内容を含む講座を開設しているセンターは、13年度においては14.76%であり、14年度においては21.31%とわずかであるが増加した。

個別の指導計画の作成の内容が一部含まれている研修講座等の開設および、関連する講座等を開設していないセンターの比率は、いずれも減少しているが未定や不明のセンターが13.11%に及ぶため、14年度の実際については異なった状況になる可能性が

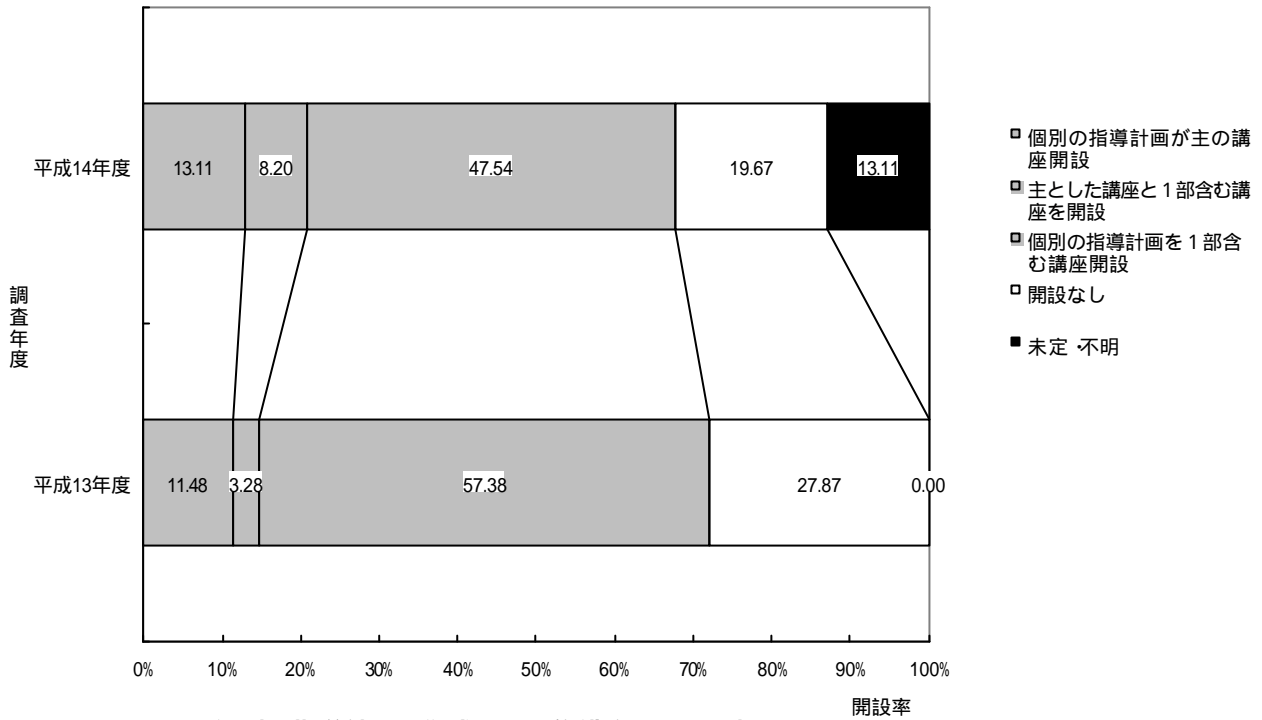


図1 「個別の指導計画の作成」の研修講座での取り扱い

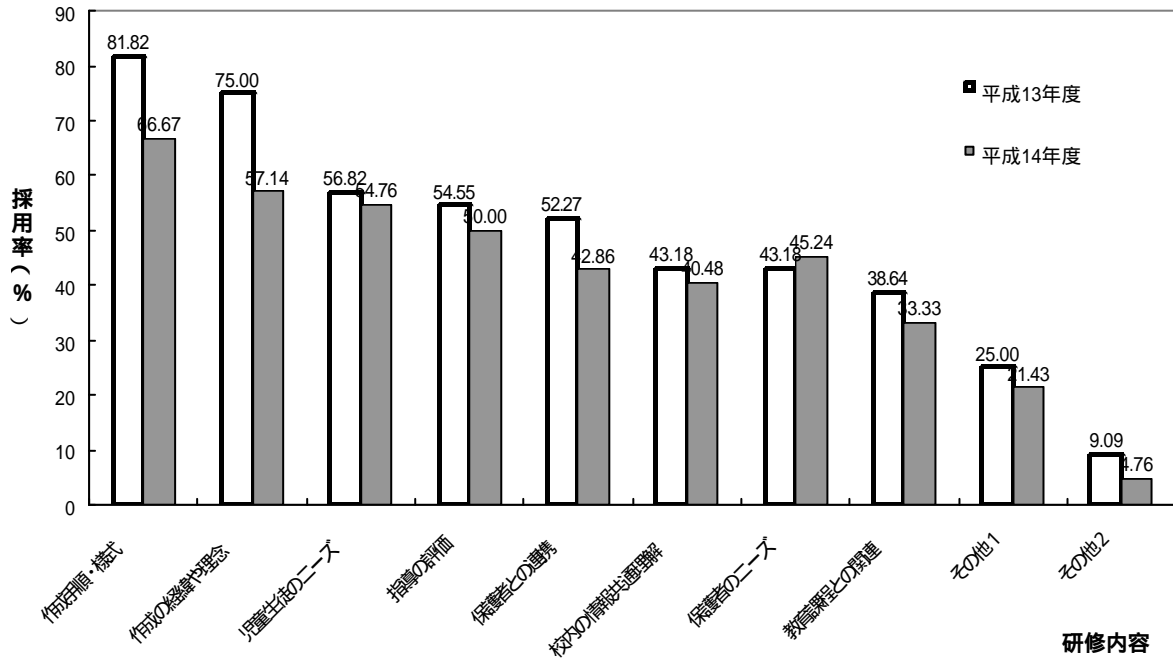


図2 「個別の指導計画の作成」の研修内容

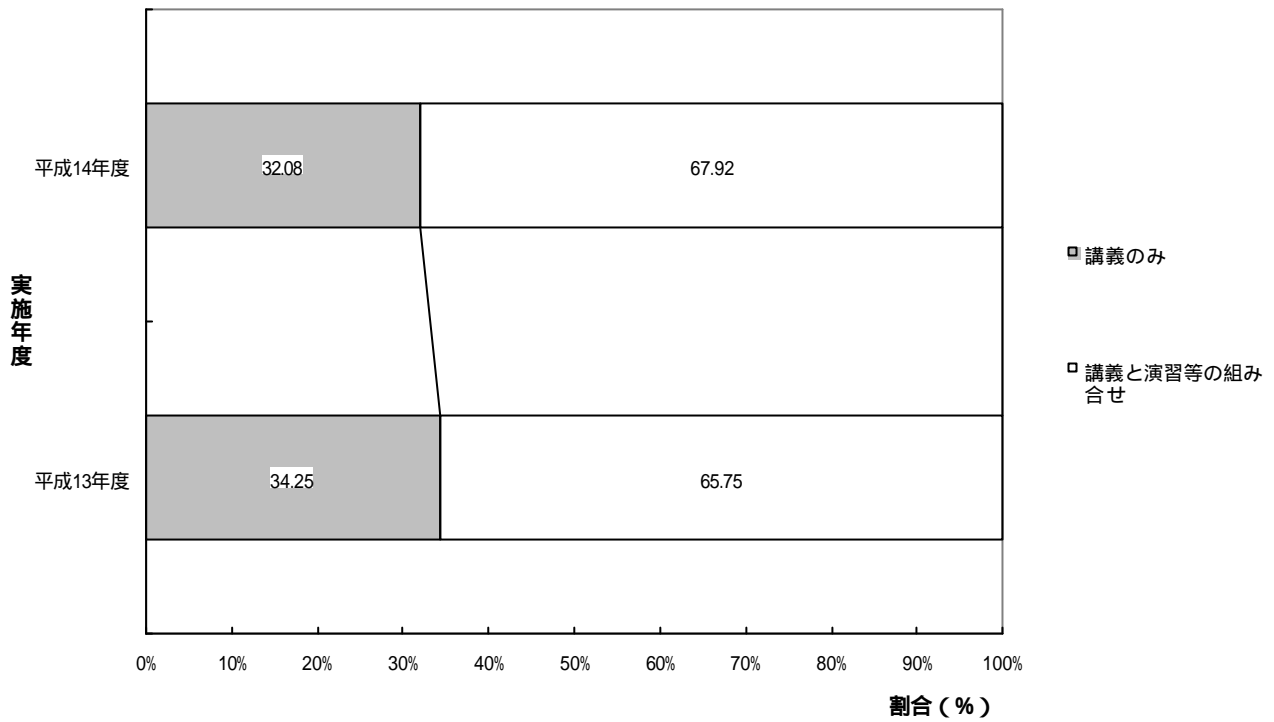


図3 「個別の指導計画の作成」の研修形態

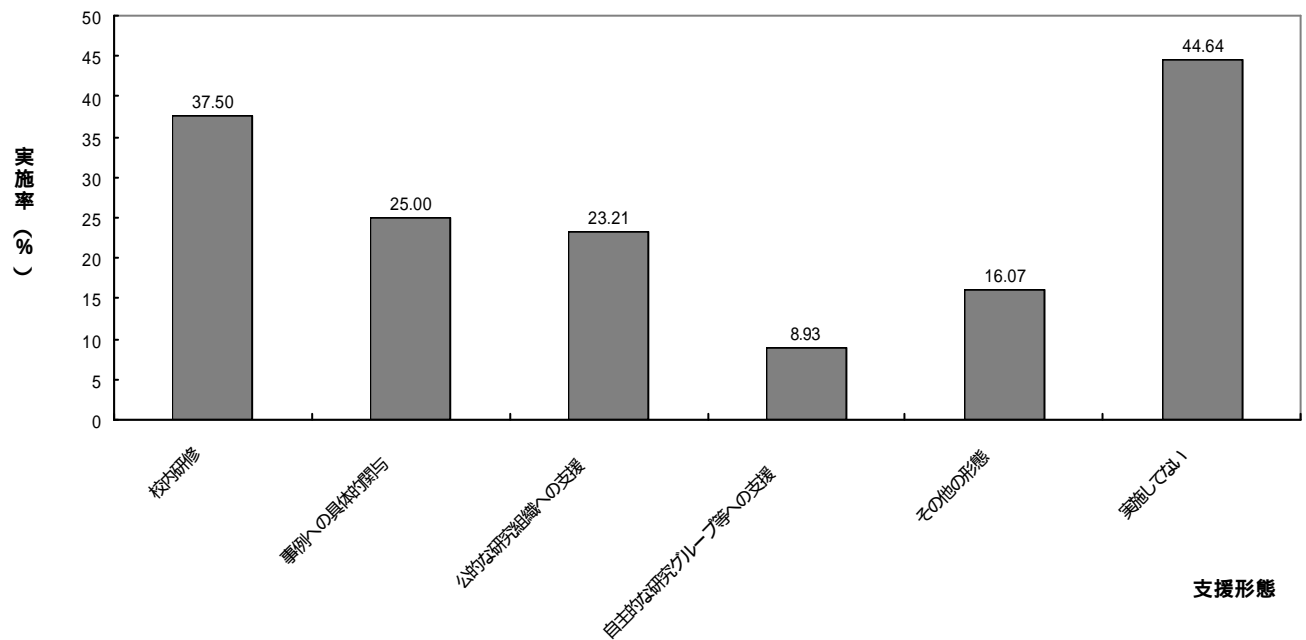


図4 学校等への支援形態 (平成13年度)

ある。

3. 個別の指導計画の作成に関する研修プログラムで扱う内容

各センターが平成 13 年度の個別の指導計画の作成に関する研修講座等で扱った研修内容（回答 44 件）及び 14 年度に扱う予定の内容（回答 42 件）は、図 2 に示した通りであった。この図は、平成 13 年度に採用された率の高い項目の順に並べてある。平成 13 年度と 14 年度の項目の採用率の順位は、同じ傾向であるが、14 年度において「保護者のニーズ」の順位に変化があったことが唯一異なった点であった。

4. 個別の指導計画の作成に関する研修の形態

図 3 に個別の指導計画の作成の研修形態についての結果を示した。平成 13 年度（73 件）と平成 14 年度（53 件）における、講義のみの研修講座等と講義と演習や協議を組み合わせた研修講座等の比率は、ほぼ同様の傾向が見られ、平成 13 年度、14 年度ともに講義と演習や協議を組み合わせた研修形態等の比率が高かった。

5. 各センターにおける個別の指導計画の作成に関する学校等への支援形態

各センターの個別の指導計画の作成に関する研修講座等の企画実施以外の、学校等への支援の実態に関する結果を図 4 に示した。このことについて回答のあったセンターは 56 カ所であり、その内の 44.64% のセンターは、研修講座等の企画実施のみでこれ以外の学校等への支援形態を持っていなかった。他の形態による支援を実施しているセンターにおいて最も多かった支援形態は、校内研修への協力であった。個別の事例へ具体的に関与していく場合は 25% あり、公的な研究組織への支援や自主的な研究グループへの支援を行っているセンターもあった。その他の支援については、関連した研究の成果を公開・配布したり、市町村教育委員会の研修会等の支援などがあげられていた。

・考察

1. 研修プログラムにおける個別の指導計画の作成への対応

平成 13 年度においては 72.14%、平成 14 年度（予定）においては、68.85% の特殊教育センター等に

おいて個別の指導計画の作成」に関連する講座等が実施または予定されていた。本調査は、平成 13 年 12 月の時点のものであったため 14 年度の個別の指導計画の作成に関する講座等を企画するセンターは増える可能性があるが、この点については、継続した調査が必要とされるであろう。

しかし、議論されるべきは、個別の指導計画の作成に関する講座等を実施、予定していないセンターが平成 13 年度で 30% 弱、平成 14 年度予定で 20% 弱であることであろう。たしかに、個別の指導計画が教育の全てではないが、個別の指導計画の言葉自体は、比較的新しく教師もそれを作成することにとまどいを感じているのではないというのが我々の当初の予測であった。今回は質問紙を郵送して全体的な傾向を捉えることが目的だったため、追加の調査は行わなかったが、今後個別の指導計画の作成に関わる講座等を企画していないセンター等への調査等も現状を深く理解する上で必要である。

2. 個別の指導計画の作成に関するプログラムで扱う内容

個別の指導計画の作成に関する講座等で取り上げられる内容は、平成 13 年、14 年とほぼ同じ傾向であった。平成 13 年度で群を抜いて多いのが、作成手順や記録様式に関するものと個別の指導計画の必要性やその理念に関するものであった。平成 14 年になると、内容として選択される項目の採用率の順位はほぼ同じであるが作成手順や記録様式に関するもの採用率が前年度より下がり、個別の指導計画の必要性やその理念に関するものも採用率が下がっている。今後この研修項目の採用率の推移を追跡することで、学校における個別の指導計画の意義や機能を把握する事ができる可能性がある。特に、今後校内の情報の共通理解や保護者のニーズ、教育課程との関連に関する項目に注目することで、個別の指導計画の意義や機能の実施状況を理解する手助けになると思われる。

3. 個別の指導計画の作成に関する研修の形態

個別の指導計画の作成に関する講座等の形態で多かったのが、講義と演習や協議を組み合わせた形態であった。平成 14 年度は、この形態の研修講座の比率が前年度に比べて微増しているが、今後この傾向がさらに進むのか否かについては、引き続き追跡する必要がある。個別の指導計画を作成し実行し、評価する過程に取り組む教師にとっては、具体的な

イメージをつかむ上でも演習や協議の場は重要な意味をもつと考えられる。個別の指導計画をより円滑に教育現場への導入するためには、研修講座等においてこのような工夫が必要となると考えられるが、演習や協議は、参加者の人数等に影響を受けるため、必ずしも全ての研修講座に用いられるとは考えづらい。また、研修講座等の目的によっては、講義形式が優れていることもある。今後は、参加人数、研修講座の目的、対象者との関連で分析をおこなう必要があると考えられる。

4．個別の指導計画の作成に関する学校等への支援

研修講座等の企画・実施以外の個別の指導計画の作成に関する学校等への支援において、一番多かったのは、校内研修への支援であった。事例への具体的関与がその次に多かったが、その他の形態で教育相談を挙げるセンターもあったことを考えると事例への具体的関与する形態による実施率はさらに高くなるであろう。この調査から、各センターが様々な形で学校における個別の指導計画の作成を支援していることがわかった。また、一方で 44.64%のセンターは、ここに挙げたサービスを行っていない。今回の調査は、その理由を明確にする質問項目を含んでいなかったため今回はこれらの事実の解釈を行うことができなかった。

5．今後の課題

今回の調査は、個別の指導計画の作成が明記されている新学習指導要領の実施にむけて、各センターの研修講座等の実施状況を明らかにすることを目的とした。結果としては平成 13 年度と 14 年度のプログラムは類似していることが明らかになった。今回の調査は、現状を把握する事に主眼がおかれたこともあり、この理由を検討するための情報収集が行われなかった。従って多くのセンターが新学習指導要領の実施に向けてすでに研修プログラムの改編を終えた為なのか、15 年度以降に大幅な改編を予定しているためなのか、現状では改編が困難なためなのか、については明らかにならなかった。引き続き同様の調査を行い追跡する事でその答えが出ると思われる。

また、個別の指導計画の作成に関する研修項目の採用率の推移を追うことが、個別の指導計画の学校における意義と機能の実現状況を理解する上で重要となることは考察の 2 の部分でも述べた。個別の指導計画は、指導とその評価の面からも、学校組織や教師と保護者の連携の面からも、インフォームド・コンセントやアカウンタビリティの面からも活用が期待されるものである。各センターにおいてどのような内容に焦点が当てられているかを追跡することは、学校における課題を探る指標となると考えられる。

資料 1 特殊教育センター等における「個別の指導計画の作成」 の研修講座等に関する調査

【調査紙フェースシート】

記入者名前 ()
所 属 ()
連絡先 (電話)

1. 貴特殊教育センター等における平成 13 年度の研修講座等において「個別の指導計画の作成」に関する内容はどのように取り扱われていますか。該当するもの 1 つに をつけてください

- 1) 「個別の指導計画の作成」に関する内容を主とする単独の研修講座等を開設した。
- 2) 研修講座等の一部に「個別の指導計画の作成」の内容が含まれている。
- 3) 「個別の指導計画の作成」に関する研修講座等が開設していない。

2. 1 の質問において 1) に をつけられた特殊教育センター等に伺います。その研修講座等の名称、対象者（校種・人数・経験年数等）全体の時間数を教えてください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

3. 1 の質問において 2) に をつけられた特殊教育センター等にお伺いします。その研修講座等の名称、対象者、全体の時間数と「個別の指導計画の作成」に関する内容の時間数に関して教えてください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

4 . 1の質問において1)、または2)に つけられた特殊教育センター等に伺います。研修講座等の内容で該当するもの全てに をつけてください。また、それらの具体的な内容等についても教えてください。

- 1) 作成の手順や様式
(具体的には :)
- 2) 校内で情報の共通理解
(具体的には :)
- 3) 児童・生徒のニーズの評価
(具体的には :)
- 4) 保護者のニーズの評価
(具体的には :)
- 5) 「個別の指導計画の作成」の経緯や理念
(具体的には :)
- 6) 指導の評価
(具体的には :)
- 7) 個別の指導計画と教育課程の関連
(具体的には :)
- 8) 保護者との連携
(具体的には :)
- 9) その他 1
(具体的には :)
- 10) その他 2
(具体的には :)

5 . 1の質問において1)、または2)に つけられた特殊教育センター等に伺います。「個別の指導計画の作成」の研修講座等は、どのような形態で実施されましたか。該当するものに をつけてください。

- 1) 講義のみ (時間)
- 2) 講義と演習 (講義 時間、演習 時間)
- 3) 演習のみ (時間)
- 4) その他
(具体的には :)
- 5) 複数ある場合は、研修講座等の名称
(名称 :)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 講義のみ (時間)
- 2) 講義と演習 (講義 時間、演習 時間)
- 3) 演習のみ (時間)
- 4) その他
(具体的には :)
- 5) 研修講座等の名称
(名称 :)

6 . 5の質問において2)から4)に つけられた特殊教育センター等に伺います。演習の内容・方法を具体的に教えてください。

()

複数ある場合は以下にお書きください。

()

7 . 貴特殊教育センター等における平成 14 年度の研修講座等において「個別の指導計画の作成」に関する内容はどのように取り扱われる予定ですか。該当するものに をつけてください。

- 1) 「個別の指導計画の作成」に関する内容を主とする単独の研修講座等の開設を予定している。
- 2) 一部に「個別の指導計画の作成」の内容が含まれている研修講座等の開設を予定している。
- 3) 「個別の指導計画の作成」に関する研修講座等の開設は予定していない。
- 4) その他

()

8 . 7の質問において1)に つけられた特殊教育センター等に伺います。その研修講座等の名称、対象者(校種・人数・経験年数等) 全体の時間数を教えてください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

9 . 7の質問において2)に をつけられた特殊教育センター等にお伺いします。その研修講座等の名称、対象者、全体の時間数と「個別の指導計画の作成」に関する内容の時間数に関して教えてください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 名称 ()
- 2) 対象者の校種 ()
- 3) 対象者の人数 (人)
- 4) 対象者の経験年数等 ()
- 5) 全体の時間数 (時間)

10 . 7の質問において1)、または2)に をつけられた特殊教育センター等に伺います。研修講座等の内容で該当するもの全てに をつけてください。また、それらの具体的な内容等についても教えてください。

- 1) 作成の手順や様式
(具体的には :)
- 2) 校内で情報の共通理解
(具体的には :)
- 3) 児童・生徒のニーズの評価
(具体的には :)
- 4) 保護者のニーズの評価
(具体的には :)
- 5) 「個別の指導計画の作成」の経緯や理念
(具体的には :)
- 6) 指導の評価
(具体的には :)
- 7) 個別の指導計画と教育課程の関連
(具体的には :)

- 8) 保護者との連携
(具体的には :)
- 9) その他 1
(具体的には :)
- 10) その他 2
(具体的には :)

11. 7の質問において1)、または2)に つけられたセンターに伺います。その研修講義等は、どのような形態で実施される予定ですか。該当するものに つけください。

- 1) 講義のみ (時間)
- 2) 講義と演習 (講義 時間、演習 時間)
- 3) 演習のみ (時間)
- 4) その他
(具体的には :)
- 5) 複数ある場合は、研修講座等の名称
(名称 :)

複数ある場合は以下にお書きください。

- 1) 講義のみ (時間)
- 2) 講義と演習 (講義 時間、演習 時間)
- 3) 演習のみ (時間)
- 4) その他
(具体的には :)
- 5) 研修講座等の名称
(名称 :)

12. 11の質問において2)から4)に つけられたセンターに伺います。演習の内容・方法を具体的に教えてください。

()

複数ある場合は以下にお書きください。

()

13. 「個別の指導計画の作成」に関する学校等への支援として実施されている該当するものすべてに をつけてください。

- 1) 校内研修への協力 (のべ回数 回)
- 2) 個別の事例への具体的な関与 (のべ回数 回)
- 3) 公的な研究組織などに対する支援 (のべ回数 回)
- 4) 自主的な研究グループなど公的でない研究組織などに対する支援 (のべ回数 回)
- 5) 上記4つ以外に対して行っている (具体的には , のべ回数 回)
- 6) 「個別の指導計画の作成」に関する学校等への支援は実施していない。

14. 実際の学校において個別の指導計画を作成していく上で課題とお考えになっていることを教えてください。

()

15. 個別の指導計画の作成に関する研修講座等を企画・実施するにあたっての課題とお考えになっていることについて教えてください。

()

16. 個別の指導計画の作成に関して学校等への支援をするにあたっての課題とお考えになっていることを教えてください。

()

17. 本調査に関するご意見等ございましたらお書きください。

()

ご協力ありがとうございました